

DX を活用し、暮らしに必要な情報や行政サービスを市民に提供する効率的・効果的な手法を募集します。

[背景・解決したい課題]

- ・本市では、全戸配付している防災行政無線の戸別受信機が整備から約 10 年を経過し、老朽化による修繕費の増加や将来的な維持管理、一斉更新への対応が課題となっています。また、戸別受信機は、地形や妨害電波等の影響を受けやすく、電波不調エリアを完全に解消することは技術的に困難であることから、戸別受信機に代わる効率的で安定した市民への情報発信手段を確保したいと考えています。併せて、戸別受信機で地域コミュニティ放送を配信されている自治会等には、地域の連絡網の代替手段を確保していく必要があります。
- ・本市では、各部署で整備したサイトやアプリが乱立し、かつ、LINE や Instagram 等、様々な広報媒体から情報発信を行っていることから、アクセス経路が分散しており、市民が暮らしに必要な情報や行政サービスにたどり着きにくい状況となっています。また、市民にとって利用しているサイトやアプリ等が市公式の信頼性の高い情報であるかが分かりにくくなっている課題もあり、これらを解決していく必要があります。

[活用が見込まれる制度・財源]

緊急防災・減災事業債、地域未来交付金、地域活性化起業人制度 他

若い女性が魅力を感じる「丹波市らしさ」や「丹波市での暮らし」をイメージとして確立し、発信する手法を募集します。

[背景・解決したい課題]

- ・本市では、若者、特に若い女性が暮らしやすく、魅力を感じるまちとして認知を広めていくことが重要だと考えています。一方で、子育て、商工業、観光、農業、移住・定住、伝統文化等、各分野で魅力的な事業やプロモーションを展開しているものの、それらが効果的に「丹波市らしさ」や「丹波市での暮らし」のイメージ・ブランド価値の向上につながっていないという課題があります。「丹波市らしさ」や「丹波市での暮らし」の価値や強みを明確にし、一貫したイメージや、それを言語化したメッセージを発信していくことを目指しています。
- ・本市では、人口減少下においても活力ある持続可能な地域社会を形成するため、市外にお住まいの方に「丹波市ふるさと住民登録制度」に登録いただき、関係人口の創出と定着に取り組んでいます。こうした取組を将来にわたって発展させるためには、子どもや若者等と地域との関係性をしっかりと築き、地域への愛着を醸成することが重要です。

特に進学や就職を目前とする高校生世代の若者が、学校や家庭以外の場所で様々な人や地域資源に触れる機会や、「丹波市から応援してもらっている」と実感できる事業を展開することで、将来、本市のふるさと住民として継続的につながりを持ってもらえたり、Uターンしたりする人の増加につなげていくことを目指しています。

[活用が見込まれる財源・制度]

地域未来交付金、地域活性化起業人制度 他

第3期丹波市丹（まごころ）の里創生総合戦略に示す「基本目標3 安心して暮らし続けられる生活環境をつくる」及び「基本目標4 丹波市の価値を創造する」の達成に資する提案を募集します。

[参考]

- ・第3期丹波市丹（まごころ）の里創生総合戦略

<https://www.city.tamba.lg.jp/soshiki/sogosesakuka/gyomuannai/8/5/13223.html>

